

阿武隈川流域防災セミナー

平成 20 年 11 月 22 日
於：郡山河川防災センター内郡山市水防センター

プログラム（案）

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 9:20 | ～ | 10:00 | 受付 |
| 10:00 | ～ | 10:20 | 開会挨拶： 福島河川国道事務所 佐々木 秀明 副所長 |
| 10:20 | ～ | 11:20 | 基調講演： NHK 解説委員解説主幹 山崎 登 講師
「災害情報を防災に生かす」 |
| 11:20 | ～ | 12:20 | 昼食・休憩（非常食試食） |
| 12:20 | ～ | 12:50 | 図上訓練： ～地域の変遷～
「まち」の姿を再確認 |
| 12:50 | ～ | 13:20 | 図上訓練： ～ハザードマップの確認～
地域の避難場所と避難経路を地図で確認 |
| 13:20 | ～ | 13:50 | 図上訓練： ～警戒行動の確認～
大雨のときどんなことにことに注意するか？ |
| 13:50 | ～ | 14:20 | 図上訓練： ～発表と解説～
発表・質問：参加者 |
| 14:20 | ～ | 14:30 | 休憩 |
| 14:30 | ～ | 14:50 | 福島河川国道事務所の解説
「川の防災情報」 |
| 14:50 | ～ | 15:10 | 福島地方気象台の解説 高橋 明 水害対策気象官
「防災情報の基礎知識」 |
| 15:10 | ～ | 15:30 | 郡山市の解説 佐々木 修平 危機管理室長
「自主防災組織の必要性など」 |
| 15:30 | ～ | 15:40 | アンケート記入 |
| 15:40 | ～ | 15:50 | 閉会 |

阿武隈川流域防災セミナー

平成 20 年 11 月 24 日
於：サンライズもとみや、本宮市中央公民館

プログラム（案）

9:20	～	10:00	受付
10:00	～	10:20	開会挨拶： 福島河川国道事務所 佐々木 副所長
10:20	～	11:20	基調講演： NHK 解説委員解説主幹 山崎 登 講師 「災害情報を防災に生かす」
11:20	～	12:20	昼食・休憩（非常食試食）
12:20	～	12:50	図上訓練： ～地域の変遷～ 「まち」の姿を再確認
12:50	～	13:20	図上訓練： ～ハザードマップの確認～ 地域の避難場所と避難経路を地図で確認
13:20	～	13:50	図上訓練： ～警戒行動の確認～ 大雨のときどんなことにことに注意するか？
13:50	～	14:20	図上訓練： ～発表と解説～ 発表・質問：参加者
14:20	～	14:30	休憩
14:30	～	14:50	福島河川国道事務所の解説： 二瓶 昭弘 調査第一課長 「川の防災情報」
14:50	～	15:10	福島地方気象台の解説： 鈴木 隆雄 土砂災害気象官 「防災情報の基礎知識」
15:10	～	15:30	本宮市の解説： 安田 章 消防防災係長 「本宮市の防災体制」
15:30	～	15:40	アンケート記入
15:40	～	15:50	閉会

平成 19 年度「水防ゼミナール」 News

福島市東部地区で「水防ゼミナール」を開催しました！！



阿武隈川洪水予報・水防連絡会では福島市東部地区で、「水防ゼミナール」を次のように開催致しました。

- ・日時：平成 19 年 6 月 9 日（土）
10：00～16：00
- ・場所：もちずり学習センター

当日は、地域の防災を担う自主防災組織の方々など約 70 名のご参加を頂きました。

このゼミナールでは、災害報道や気象の専門家による講演と図上演習を行い、地域の防災力向上に向けて活発な議論を頂きました。

「水防ゼミナール」開催の主旨

地域の自助・共助体制の確立など水害に対する地域防災力の向上を図るため、地域の防災リーダーを中心とした方々に、気象・水害などの自然災害を理解し、水害時の防災について学べるゼミナールを開催しました。このゼミナールは、今後も引き続き阿武隈川の沿川地域各所で開催していく予定です。

プログラム

- わかりやすい情報が命を救う（山崎登 NHK 解説委員）
- 気象情報の読み方を知る（市澤成介 環境防災総合政策研究機構 理事）
- 昼食（非常食の試食体験）
- 河川に関する講演（福島河川国道事務所 調査第一課）
- 災害時要援護者 防災対策について（福島市 健康福祉部 障がい福祉課）
- 水害に関する災害図上演習

「水防ゼミナール」の概要

講演

このゼミナールでは、災害報道、気象、河川、災害時要援護者に着目して、水害に対する専門知識の向上を目的にそれぞれの専門家による講演を行いました。

災害報道の専門家である山崎講師からは、災害情報をわかりやすく伝達するために、複数の伝達手段をもつこと、分かりやすい用語を使うこと、住民間の事前勉強会が必要であることなどが述べられました。気象の専門家である市澤講師からは、気象図の読み方と最近の気象に関する話題などが述べられました。また、福島河川国道事務所からは、阿武隈川沿川での水害対策について、福島市からは、災害時要援護者のための防災対策の取り組みを講演しました。



水害に関する災害図上訓練

福島市洪水ハザードマップなどの地図をもとに、次の3つの内容についてグループごとに議論し発表して頂きました。

福島市東部地区の変遷

「大正」、「昭和」、「平成」の地形図を見て地域の変遷について気づいた点を話し合いました。

ハザードマップの確認

浸水区域や避難所を確認し、もしも水害が起こったら、どんなことに警戒するか、何をすべきかを話し合いました。

避難行動の確認

避難する場所や避難経路の確認、避難時の持ち物などについても話し合いました。

【主な発表内容】

- ・松川の形状や土地の利用形態が昔と比べてずいぶん変わってきている。
- ・テレビ・ラジオだけではなく、川の水位を見て避難を考える。
- ・避難経路に胡桃川があり、注意が必要である。
- ・避難時には、杖などがあると足下が確認できて便利である。

参加者の声 ~ アンケートより ~

- ・大変参考になった。同じ町会の他の人にも聞いてほしい。
- ・あらためて防災意識が高まった。地域が協力して取り組むことが必要だと感じた。
- ・平時からの心構えが必要だと思った。今後も続けて毎年開催してほしい。
- ・理解するだけでなく、具体的に行動を起こすことが大切だと思った。

ご意見やお問い合わせは、

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 調査第一課

〒 960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36 TEL: 024-546-4331